

令和3年度当初予算

一般会計予算額 285億円

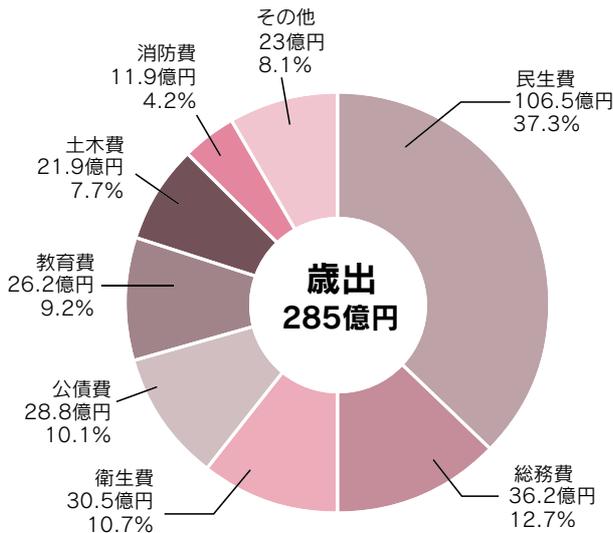
〔前年度比▲1.0%〕

令和3年度予算が、市議会3月定例会で可決されました。

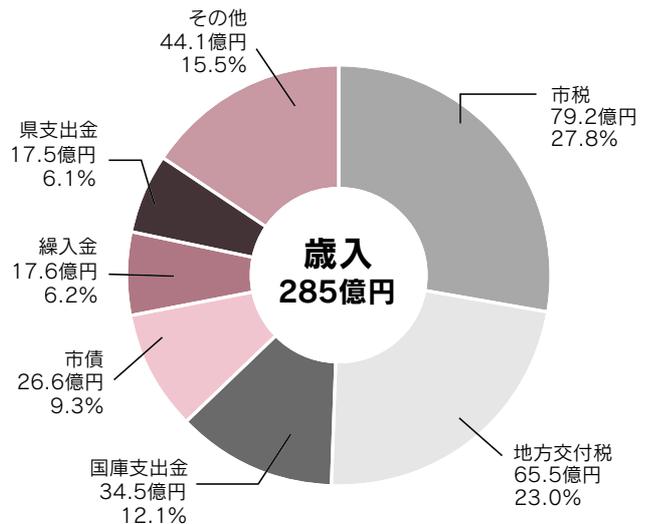
道路新設改良費の大幅な減少や、一般職人件費、公債費の減少などにより、令和3年度予算は前年度と比べ規模が縮小しました。継続事業として、ソサエティ5.0推進事業のほか、新たな事業として、アフターコロナに向けた体制整備を支援する事業など、変化に対応し、新しい秩父市を創造するための事業を盛り込みました。

創意工夫を凝らして、満足度の高い市民サービスの提供を進めていきます。

一般会計の歳出



一般会計の歳入



一般会計予算の概要

【歳入の概要】

新型コロナウイルス感染症の影響による市税の大幅な減少が見込まれています。

一方で、市にとって重要な収入である地方交付税は、合併特例措置の終了により減少が見込まれていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による市税の減少などの影響が国の地方財政計画に反映されたため、増収を見込んでいます。

【市債残高の状況】

令和3年度末の市債残高は約307億円となり、大規模事業の完了などの要因で、令和2年度末と比べて約1億円の減少となる見込みです。また、令和3年度以降も基金の活用などにより市債の抑制を進め、残高は減少する見込みです。

【歳出の概要】

民生費には、花の木学童保育室改修工事などを盛り込みました。総務費にはソサエティ5.0推進のための委託料や防犯灯LED化事業などの経費を計上しました。衛生費には、道路照明灯の省エネルギー化にかかる経費を、教育費には、小中学校の大規模改造事業などを計上しました。

【用語解説】

地方交付税…全国で同水準の行政を行うために交付される財源

市債…市の借入金

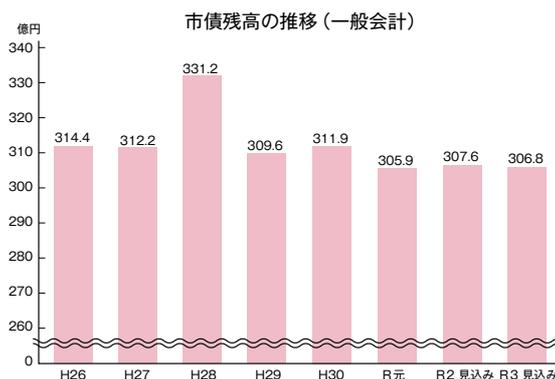
民生費…児童、高齢者、障がい者福祉のための経費や生活保護の経費

総務費…市の計画の策定や推進、内部管理、選挙等にかかる経費

衛生費…市民の健康づくり、環境保全のための経費

教育費…幼稚園、小学校、中学校などの運営・整備にかかる経費

ソサエティ5.0…国が提唱する目指すべき未来社会の姿



令和3年度 注目の事業

アフターコロナ対策

●IT関連オフィス開設補助事業【新】 〔360万円〕

コロナ禍で働き方が多様化していることを受けて、IT関連企業を新たな企業誘致対象と位置付け、オフィス賃料等の補助制度を創設します。

●新分野進出チャレンジ補助事業【新】 〔300万円〕

コロナ禍で売上が減少している中小企業が新たな業態や事業にチャレンジする事業費を補助する制度を創設します。

●テレワーク普及促進事業【新】 〔66万円〕

テレワークへの対応が遅れている市内中小企業を対象に、秩父ビジネスプラザを活用し、支援を行います。

新たな地域振興

●秩父公園橋ライトアップ事業【新】 〔1,500万円〕

県秩父県土整備事務所が行う秩父公園橋の照明交換に合わせ、主塔を照らす照明をフルカラーLEDにするための費用を一部負担し、秩父のランドマークとしての魅力をアップします。

●道路照明灯・防犯灯LED化事業【新】 〔1,346万円〕

市管理の道路照明灯および防犯灯を、リース方式を活用してLED化し、使用電力の抑制、CO₂排出量の削減を目指します。

●ソサエティ5.0推進事業 〔6,927万円〕

地方創生推進交付金を活用して、ドローン物流・遠隔医療等の実証実験を通じて、社会実装に向けた課題検証を行います。また、各サービスを統合的に管理するシステムの開発に取り組みます。

少子高齢化への対応

●小中学校校舎大規模改造事業【新】 〔3億7,423万円〕

学校施設長寿命化計画に基づいて、荒川西小学校、影森中学校および高篠中学校校舎の、大規模改造事業を実施し安全・安心な学校環境の整備を図ります。



大規模改修が行われる影森中学校

●花の木学童保育室改修事業【新】 〔2,500万円〕

花の木小学校内に花の木学童保育室を整備する改修工事を行い、中村学童保育室の機能を移転し、既存の学童保育室の拡充を行います。

継続事業の発展

●お花畑通線街路整備事業 〔3,500万円〕

秩父地方庁舎（北）入口交差点から地方庁舎に向かう未整備区間の道路拡幅工事に伴い、電線地中化による埋設管路等の整備を行います。

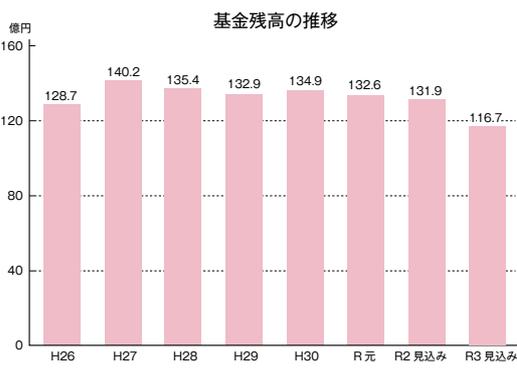
●森林環境譲与税運用事業 〔6,633万円〕

森林経営管理制度に基づき、手入れの行き届いていない森林について、市が所有者から委託を受け、林業経営者へ再委託を行い、森林資源の適正な管理を進めます。

●大滝温泉源泉整備事業 〔7,000万円〕

大滝温泉源泉ポンプの故障に伴い、現在は仮設ポンプでの営業を行っていますが、新たに源泉の掘削とポンプを設置し、大滝地区の観光拠点の活性化を図ります。

問 特別会計、企業会計の予算の概
要は市HPをご覧ください。
財 政 課 ☎ 2212203



【基金残高の状況】
一般家庭での貯金にあたるのが「基金」です。市では、計画的に基金への積み立てを行い、財源を必要とするときに取り崩しを行っています。平成29年度では市債償還の財源として取り崩したため残高は減少しましたが、平成30年度末にはふるさと納税寄附金の基金への積み立てなどにより増加しました。令和元年度以降は市債の繰上償還の財源として取り崩しを行っているため残高は減少傾向にありますが、市民一人当たりの基金残高は、県内の他市町村と比較して高いレベルにあります。今後市債と基金のバランスに配慮しながら、基金の使い道を決めていきます。